

第70号

箱崎新聞

高尾稲荷神社－公式サイト

<https://takaoinari.tokyo/>

令和5年9月1日発行

発行者:

箱崎環境対策協議会

箱崎新聞編集部

中央区日本橋箱崎町34-8

Tel 03-5962-3137

協賛:

日本橋法人会箱崎支部



6年振りの連合渡御

一週間くらい前から台風7号の行方が気になりだった。だが、出発前には青空が見えお日様も顔を出してくれた。

八幡宮の境内では、32年振りに一の宮神輿も神輿庫から外に出て、間近から連合渡御を見守った。

花火と神輿総代連合会会長の砂払いで先頭宮元が出発した。

我々箱崎の神輿も威勢良く出発した。小休止に着く手前で土砂降りの雨に見舞われた。

小休止に到着すると雨は止んだが、担ぎ手や金棒隊、旗持ち隊、神輿を警備している誰もがパンを手にして口に運ぶ間も無く、前の神輿が上げる準備をしている。金棒隊の娘さん達には酷な状況なので、パンを食べてから神輿に合流すれば良いよと伝えた。

しかしこれが神輿に追いつこうと金棒隊の娘さん達を走らせる目に合わせてしまった。僕の判断ミスだった。この場を借りてゴメンなさいと謝りたい。

それでも地元箱崎では全員の金棒隊と弓張り隊の小学生も加わって、箱崎の神輿を先導してくれた。

大休止後の永代橋でも痛いほどの大雨に見舞われたが金棒隊はここでも頑張って箱崎の神輿を先導してくれた。本当に頭が下がる。

各神酒所やお囃子、太鼓の演奏だけでなく、水掛けスポットでも向きを変えてお辞儀をして挨拶をした。箱崎の金棒隊はどこに行っても喝采を浴びていた。

八幡宮で最後の挨拶をして、神輿の渡御も終わりを迎えた。

今回は今まで経験が無いほどの悪天候に見舞われたが、担ぎ手の方々からの楽しかったという言葉が多く耳にした。記憶に残る連合渡御であったと思う。 →

祝 八月十日 初まる

今年は待ちに待った六年振りの富岡八幡宮本祭りになりました。

長い箱崎の歴史の中でも初となる、本祭り前に町内企業の方々と町会の人々に肩慣らしをしていただこうと町内一周を企画し、普段から仲良くしていただいている近隣町会や新川七部会の皆様で絆を深め画期的な日を実現することができました。

日々日頃、いろいろとお世話になっている久松警察、日本橋消防署の方々も大勢参加していただき、本当に盛り上がった箱崎の心意気を感じる神輿渡御と成りました。

その後、「三町会合同神酒所開き」と言う今までに実現されなかった事も出来ました。これも本当に喜ばしい事です。

“和がいっしょ” “ワッショイ” の富岡八幡宮大祭の始まりの日に成りました。

ご協力、ご参加、感謝する次第であります。有難う御座居ました。

箱崎神輿総代 石井利一

→ 最後に金棒隊はじめ弓張り隊、旗持ち隊の若者達、陰から支えてもらった配給の仲間達、神輿を守ってくれた赤半纏、警備それから各町会の役員の皆様、女性部の皆様、担ぎ手の皆様本当にありがとうございました。

箱崎が一致団結したお陰で、何事も無く無事に納めることが出来ました。

皆様、3年後もよろしくお願い致します。

箱崎神輿総代 大木 実

箱崎北新堀町会新体制

令和5年4月28日の箱崎北新堀町会総会で町会長に選出されました岩田将東です。当町会では長らく大塚英一前会長他の諸先輩方により運営されてきました。引き続きご指導を仰ぎながら、先輩方が築いてこられた北新堀町会の伝統と歴史をしっかりと新任の役員の方々と共に守っていきたいと思います。

また、当町会では婦人部を廃止しました。これにより、町会員はその家族も含めて皆町会員という精神の下で、年齢性別に関わりなく町会活動への参加を幅広く促進していきたいと考えております。

そして、当町会の財産ともいえる高尾稲荷神社についても、ホームページやSNSを通じた情報発信を強化し、より多くの皆様にご参拝いただけるよう取り組んでまいります。

さて、今年は6年ぶりの例大祭という最大のイベントがありましたが、まさに町会員が一丸となって協力し、なんとか乗り切ることができたと思います。

本祭終了後も、防災活動や餅つき大会等の町会活動が続きます。いずれも皆様のご参加があって成り立つものです。これからもより一層のご協力をお願い申し上げます。

箱崎北新堀町会 会長 岩田将東

箱崎北新堀町会新役員一覧

会長	岩田 将東
副会長	内田 哲夫
会計/高尾稲荷管理	渡邊 健一
副会長 祭典実行委員長	竹田 隆一
副会長 清掃活動担当	高崎 精一
副会長 サイバー担当	岡本 理
副会長 防災担当	宮島 雅雄
監査役	



箱崎北新堀町会の新役員

フットサル大会&
バーベキュー大会開催

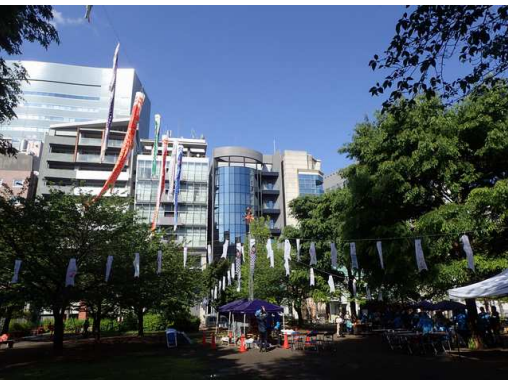
令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、コロナ自粛解除が本格化しました。これに先駆けて、箱崎町内では4月16日（日）にフットサル大会とバーベキュー大会が開催されました。この催しは、午前中に有馬小学校体育館にて箱崎町内の3町会及び町内在住のご家族連合チームによるフットサル大会、午後に箱崎公園にてバーベキュー大会という2部構成です。

午前中のフットサル大会では、町会チームとご家族連合チームの合計4チームによるリーグ戦が行われ、大人も子供たちも入り乱れた白熱した試合が展開されました。



午後のバーベキュー大会では、3年ぶりに鉄板とガスコンロの出番となり、箱崎睦会員による焼きそばや焼肉等の暖かい料理が振舞われました。

また、恒例の子供たちによる手作り鯉のぼりも復活し、たくさんの子供たちが参加しました。あいにくの天気で途中激しい雨に襲われましたが、最後にはたくさんの可愛い鯉のぼりで箱崎公園を彩ることができました。



バーベキュー大会は、元々は町内の親睦を目的としたソフトボール大会とセットの催しでした。今回はスポーツ大会を復活させ、世代を超えた交流の場とすることができました。なお、フットサル大会に参加した大人の選手の皆さんが翌日以降辛い筋肉痛に悩まされたという噂もチラホラ。

箱崎睦会 総務 岡本 理

子ども向け盆踊り練習会
子ども盆踊り大会

「もっと盆踊りを楽しめる子どもが増えるように！」という思いから、初の試みとして子ども向けの盆踊り練習会が開催されました。はたして盆踊りに興味をもってくれるか、どのくらい集まってくれるものか、という心配を越え、付き添いの大人たちの積極的な参加もあって、50名以上が集まるという盛況ぶりとなりました。

曲は、「パプリカ」「ドラえもん音頭」「有馬音頭」「八木節イントロデュース」「これがお江戸の盆ダンス」等々…子ども向けのみならず、大人も踊る曲もありましたが、とにかく子どもたちの覚えの早さは、大人顔負けのレベルです。楽しく盛り上がりながら一生懸命、みるみるうちに見事な振りで輪になって踊れるようになりました。

練習会に参加した子どもたちには甚平のプレゼントつき。こちらも本番の衣装としてお楽しみとなったようです。

子ども盆踊り大会当日は、あいにくの曇天の折から箱崎川第二公園での開催となりましたが、子どもたちは元気いっぱい、笑顔で輪を作って踊りました。「おうちでもお稽古したよ!」「みんなでぐるぐる踊るの楽しい!」という声も。

子どもも大人もいっしょになって楽しめる盆踊り、振りを覚えれば祭りの楽しみも一段と増えます。初めてでも気軽に参加できる練習会、来年も開催予定です。

今年は逃してしまったという皆さんも来年はぜひ！お待ちしております！

箱崎新聞編集部 伊藤亜紀

8月10日 (木)

御霊入れ



町内神輿渡御



三町会合同の神酒所開き



箱崎北新堀町会の皆さん



箱崎睦会の皆さん

箱崎

8月11日 (金)

箱崎宵の縁日

パターゴルフ



輪投げ



フリースロー



大江戸助六太鼓演舞



納涼盆踊り大会



BINGO!



子ども盆踊り

夏

箱崎二・三丁目町会の皆さん



箱崎町箱四町会の皆さん

祭り

8月13日 (日)

富岡八幡宮・各町神輿連合渡御



8月12日 (土)

子供神輿・山車渡御



七部会連合渡御



富岡八幡宮鳳輦渡御



日本橋消防団 令和5年度 可搬ポンプ操法審査会

火点は前方の標的、水利はポンプ右側後方水槽、手びろめによる二重巻きホース、一線延長 定位につけ！

指揮者の想定の掛け声と共に選手達が一斉にポンプを乗せた台車の定位に着く。

それぞれの決められた仕事に使命感を持って懸命にこなす。たった10分間の競技。しかし、そこには、たくさんの思いが込められている。指揮命令系統、規律、動作の正確さ的確さ、スピード、判断能力、もちろん体力、筋力、実際に火災や災害が発生したら必要になってくる要素がこのたったの10分間に凝縮されている。

私達はスポーツでこの競技をやっているわけではない。有事にきちんと動ける消防団員でいたい。その思いで日々の訓練に臨んでいる。



役目の説明をすると

【指揮者】 火災発生現場の様子を観察しつつ、隊員達に命令し鎮火に向け全体を指揮する。

【1番員】 筒先（水を出す道具）を持ち、最前線で火災に立ち向かい鎮圧に尽力する。

【2番員】 伝達・伝令（とにかく走る）最前線の火災現場とポンプを動かす機関員を繋ぐ重要な役目。

【3番員】 鳶口（長い鎌の様な道具）を持って必要とあらば建物を壊し、延焼を防ぎ鎮圧に尽力する。

【4番員】 機関員（メカニック）ポンプを動かし水を送る。伶俐さとセンス、水を読む経験値が必要。

【補助員】 水利（水槽）からポンプに水をくみ上げる（吸管）を保持する。地味だが補助員無しでは水は出ない。

私が日本橋消防団に入団したのは12年前。東日本大震災の年の12月に消防団員になりました。

もともと体を動かすのが好きだった私に、“日本代表になれる” “日の丸を背負える” との話が舞い込み、競技名を聞くと【消防団】との回答。日の丸を背負う気持ちで入団しました。ところが全国大会はあるものの世界大会はありませんでした。これって騙された？（笑） 最初の2年間は【3番員】そして【補助員】さらに【2番員】さらに【1番員】そして【指揮者】。【4番員】以外のポジションは経験させていただきました。

各ポジションの事を言うと、水の圧を侮ることなかれ【1番員】は見た目以上に力のいるポジションです。

【2番員】は走力と持久力、ホースを持って走る腕力も必要です。【3番員】は鳶口の保持姿勢を維持するのにかなり筋力を使います。そして、この競技の興味深いところは一人の選手が早くて上手であっても成立しないところです。そこで必要になってくるのは練度です。我が第三分団は日本橋消防団7分団の中で最も訓練回数の多い分団です。しかし、私たち消防団員は本業が他にあり、本業が忙しく、訓練に全員が参加できない場合もあります。ですが、そんな中でも日中の仕事を調整し訓練に臨みます。各ポジションの絡みがあり、そのコンビネーションがうまく連携していかないと流れるような操法は出来ません。何度も何度も同じことを繰り返し、自分達の最善のタイミングや立ち位置、連携を編み出していきます。



箱崎宵の縁日
(8/11 金)

子供達への
消火体験

私は今回【指揮者】を務めさせていただきました。昨年（令和4年度）優勝させていただきました、今年、第三分団始まって以来の連覇がかかっておりました。実は女性の選手が色々なポジションを経験させてもらえるのは都内23区を見ても大変稀なケースです。私は理解ある上席に恵まれ経験を積むことが出来ました。

今大会ではその経験をフルに活かし【指揮者】を全うし、連覇できたことによって上席の皆様には少しは恩返し出来たような気がします。まだまだ足りませんが。。。

それから、この連勝を手に入れた上で忘れてはいけないのが、訓練に出られる団員が少ない中、町会の方の交通整理のご協力があった事です。道路を使って訓練する以上、交通整理無くして訓練は出来ません。皆様のお蔭で優勝出来ました。本当にありがとうございました。



ポンプ操法訓練の様様



もう一つ消防団の事をお話すると、12年間の消防団活動の中で私の中に培われたのは、地域愛と消防団員の誇りがある故の、“無関心ではられない瞬発力”です。我が箱崎地区に限ったことではありませんが高齢の方も大勢いらっしゃる社会の中で、倒れ込むまででなくとも体調が悪くしゃがみこんでしまわれる方をお見かけした時、考える前に声を掛ける事が出来るようになりました。消防団員ではなくてもできる方はたくさんいらっしゃると思いますが以前の私は少し躊躇していたと思います。

最後に現在、日本橋消防団第三分団は小笠原分団長を筆頭に14名で構成されております。定員は21名です。消防団員募集中です。入団資格は在住または在勤の18歳以上の健康な方です。ポンプ操法に興味を持たれた方、躊躇してしまっている方、私達と一緒に地域の防災リーダーになりましょう！

日本橋消防団 第三分団 大谷美香子

地域の力

～開校150周年を迎えて～

有馬小学校の校長室には、歴代の校長先生方のお写真が飾られています。今は、校長室を休み時間毎に児童に開放しているため、休み時間になると多くの子ども達が校長室に押し寄せるのですが、初めて入室した児童は、必ずと言って良いほど「これ全部、校長先生の写真？」「何人いるの？」と聞いてきます。そんな子ども達を連れて、会議室の方に行くと、そこにはまた、歴代PTA会長の皆様のお写真が飾られています。それを見て「これは誰？（失礼かもしれませんが・・・お許しください）」となります。「今までのPTAの会長さん達だよ。」と話す。「へえ～、こんなにいるんだ。」と感心します。その時には、「他にもたくさんの方が、みんなの学校生活を支えてくれているよね。」「交通安全の見守り、ラジオ体操やお祭りなども地域の人がやってくれているよね。」という話をします。すると「うん、そう言えばそうだね!」と、なんだか安心したようないい顔をして教室に戻っていきます。

私もこの有馬小学校に赴任して1年半が経とうとしていますが、この地域の皆さんの有馬小学校への愛情の強さには、とても驚かされています。夏祭りに顔を出させていただくと、あちらこちらで「あっ、校長先生？私も卒業生なの!」「孫が、今、お世話になっているよ。」という声をたくさん聞かせていただくことができます。

今年、150周年を迎えられたのも、このような多くの地域の方のお力のお陰だと、心から感じています。教員は、何年かで異動があります。この有馬小学校に残ることはできません。この有馬小学校が、この後200周年、250周年と残っていくためには、「地域の力」は、必要不可欠だと思っています。これからも、地域の皆さんのお力をお貸しいただき、学校・保護者・地域の連携の元、素直で明るく、優しい有馬小学校の児童を育てていきたいと思っております。

有馬小学校の未来に向けて、今後ともご協力をよろしくお願いします。

中央区立有馬小学校校長 小林一輝

〇隅田川大橋下のストックヤード

地域の皆様からのご意見を踏まえ、行政に隅田川大橋下・臨時駐輪場の金網交換等の対応を行って頂きました。現在は、中央区清掃事務所の協力を得てストックヤードの使い勝手のよさを改善できるよう活動しています。

①古くなったフェンスの更新 ②掃除用具入れ、集積BOX・段ボール置き場の狭さの解消 ③入口の段差が解消（台車の出し入れのため） ④照明の増設・防犯カメラの設置 ⑤古くなっている表示物の更新などの意見を多く伺います。

今後の更新に向けて行政の担当者の方々に地域の意見をお伝えしたり、現地を確認頂いたりという活動を行っています。ストックヤードの使いやすさが向上するよう取組を継続していきたいと考えています。

〇箱崎公園・IBM前、歩道の段差解消

以前より、箱崎公園前・IBM前の道路の段差・傷みが激しく、「ベビーカーや障がいをお持ちの方が歩きづらそう」というご意見を複数頂いておりました。昨年度は箱崎公園前を、本年度はIBM前の道路の補修を行って頂きました。

この他、保育園前の交差点の安全確保、環境衛生対策（ねずみ等）、タバコ（受動喫煙対策と副流煙の対策を施した喫煙所の設置）、隅田川テラスの魅力向上など様々な日々の生活に直結するご意見を頂いております。

引き続き地域の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。お気軽にご連絡頂けますと幸いです。

中央区議会議員 かみや俊宏

連絡先 TEL/FAX:03-3666-6651 Mail:info@kamiya-toshihiro.com

ストックヤード



段差が解消された歩道



★今年度の周年に関わる主な行事（予定も含む）

- 5月 1日（月）お祝い集会（水天宮宮司 有馬様のお話、お笑い芸人 金魚番長（古市様が本校の卒業生）による集会）
- 6月14日（水）クボタスピアーズ船橋・東京ベイの選手の皆様との交流会（ジャパンラグビーリーグワン優勝チーム）
- 9月 5日（火）中澤佑二さんのお話を聞く会（元プロサッカー選手・元日本代表）
- 10月予定 山崎直子さんの話を聞く会（宇宙飛行士）
- 11月 児童による150周年お祝い集会
- 11月25日（土）有馬小学校150周年・有馬幼稚園78周年記念式典・祝賀会



校長
小林先生



有馬様の話を聞く会



学校の友だちとラジオ体操



たのしいラジオ体操
有馬小学校二年

ぼくは、ラジオ体操が大スキです。なぜか
というと、友だちがいっぱいいるからです。
あやから友だちにあえるのがうれしいです。
そして、友だちとラジオ体操をやるのがとて
もたのしいです。なので、ねぼつしていけな
いときは、とてもかたしです。
ラジオ体操に行くと、おなかかへって、あ
さごはんをいっぱいたべられます。あやこは
んをいっぱいたべると、体が大きくなるので
お父さんがほめてくれます。
さ、いこの日にごほうびがもらえるのもたの
しみです。
だから、ラジオ体操は、いいことがいっぱ
いです。

夏祭りのシメは、大江戸祭り・盆踊り大会



箱崎連合町会は
櫓の上で
「ダンシング
ヒーロー」と
「これがお江戸
の盆ダンス」を
踊りました。

櫓で太鼓を叩くのは、日本橋人形太鼓の皆さん

ありがとうございました！



編集後記

今年の熱い・暑い夏祭り、4年振りの箱崎夏祭りと6年振りの神輿連合渡御が終わりました。連日連夜の猛暑日と熱帯夜で身体が休まらない中での準備はとても大変だったと思います。始まってみればあつという間の4日間でした。皆さま、お疲れさまでした。



箱崎新聞は創刊から35年の節目を迎え、70号となりました。いつもは町会や睦会の役員さんを中心に記事を依頼することが多いのですが、趣向を変えて夏祭りに参加してくれた子ども達に書いてもらいました。とても楽しかった様子が垣間見えて、夏祭りを実行した側としても嬉しい限りです。



節目と言え、今年是有馬小学校が創立150周年を迎えます。お忙しい中に申し訳なかったのですが、箱崎新聞に記念の記事を寄稿していただきました。実は昨年末の餅つき大会で、箱崎のテントへ校長の小林先生、副校長の芳賀先生がお見えになりました。これを御縁に、芳賀先生には春に予定している睦会主催のスポーツ大会で体育館の使用を、校長の小林先生には箱崎新聞への原稿を、それぞれ依頼させていただきました。色々とお断りしましたが、お陰様で楽しい行事となりました。誌面を通じて改めて御礼申し上げます。



9月に入ってもまだ気温は高めです。長期予報によれば高温傾向は続く様子なので、皆さまどうぞお身体にはお気を付けください。

2023年度後半の予定（詳細は追って掲示物でお知らせします）

- 9月21日(木)～ 秋の全国交通安全運動
- 10月15日(日) 中央区子供フェスティバル（日本橋三の部地区委員会）
- 11月 5日(日) 防災拠点運営委員会訓練（有馬小学校防災拠点）
- 11月12日(日) チャリティフリーマーケット（箱崎睦会）
- 11月19日(日) バスハイク（箱四町会）
- 12月中旬 X'masイルミネーション（イベント部）
- 12月 3日(日) 子供餅つき大会（日本橋三の部地区委員会）
- 12月 各町会忘年会
- 12月下旬 箱崎睦会旗付け
- 1月上旬 箱崎新聞発行（箱崎新聞編集部）
- 3月 3日(日) 三の部子供スケート教室（日本橋三の部地区委員会）
- 3月 箱崎三町会防災訓練